

# JHL NEWS

No.15

2012年2月20日

●発行●  
日本ハンドボールリーグ委員会  
委員長・高村 誠一  
東京都渋谷区神南1-1-1  
電話 03-3481-2494

## 北國が無敗守りプレーオフへ

### ～第36回日本ハンドボールリーグ・第14週～

第36回日本ハンドボールリーグ・第14週は2月18、19日に鹿児島と熊本で女子6試合が行われ、首位を快走する北國銀行が広島メイプルレッズと引き分けたあと、三重バイオレットアイリスに順当勝ちして無敗を守り、3位内を確定してプレーオフ切符を獲得した。オムロンは三重、HC名古屋を危なげなく退けて2位をキープ。3位の座を激しく争うソニーセミコンダクタと広島の対戦は両者譲らず引き分けた。

18日の北國-広島戦は、北國が開始5分までに小野澤らの3連取で4-1と先行したのに対し、広島は呉成玉の連取や植垣のロングシュートなど4連続得点で19分7-6と逆転に成功。その後、互いに得点を重ねて激しい主導権争いを繰り広げ、前半は13-12と広島1点リードで終了した。後半に入って北國が3連続得点で15-13と逆転すると、広島も一歩も譲らず高山らで応戦し、北國・田代、広島・堂面のナイスセーブの応酬もあって白熱したシーソーゲームが続いた。残り2分を切り24-24の同点。互いにタイムアウトを取り、7人攻撃などの策を取るがそのまま点数は動かず試合終了のホイッスルが鳴った。

北國は翌日の三重戦で、上町の7mスローを皮切りに小野澤のポストシュートなどで開始6分までに5点を連取、早々と試合の主導権を握った。三重も阿久田の7mスローなどで反撃するが、北國は14分過ぎから野路のサイドシュートをきっかけに上町のミドルシュートやパスカットからの速攻などで一方的な展開に持ち込み、16点連取を含め22-4の大差で前半を折り返した。後半に入っても北國の勢いは止まらず、積極的に前に出て当たるディフェンスで三重のミスを誘い、次々と速攻につなげて37-13と圧勝。エース上町は16点を奪う活躍を見せた。

同日、勝点14で3位に並ぶソニーと広島が対戦。スタートから両チームの気迫のこもった攻防でめまぐるしく主導権が入れ替わり、前半は広島が9-7とリードして終了。後半に入ると前半広島に抑えられていた山野のロング、カットイン、7mスローなどでソニーが加点、フットワークを活かしたディフェンスも光り、9分13-11と優位に立った。しかし、広島も新城の7mスロー、早川の速攻などで粘り強く追撃。残り3分19-16とソニーリードの場面から、広島はポスト、サイドにボールを散らし、宋海林の7mスロー、土屋のサイドシュートで1点差。ラスト38秒でソニーはタイムアウトを取ったが、サインプレーが決まらず、広島は逆速攻でノータイムでの7mスローを獲得、これを宋が決めて引き分けに持ち込んだ。

18日のオムロン-三重戦は、パスカットからの速攻を織り交ぜて前半10分までに7-2としたオムロンが、その後も勝連、高田の速攻や東濱のロングシュートなどで9連続得点を奪い、前半を23-7と大きくリードして終えた。オムロンは後半に入っても攻撃の手を緩めず、手堅いディフェンスからの速攻などで得点を量産、石坂、大山らで追撃する三重につけ入る隙を与えなかった。



①無敗を守ってプレーオフ進出を決めた北國銀行・野路②2位をキープしたオムロン・東濱

### 第15週の日程

2月25日	岩手	花巻市総合体育館(JR東北本線花巻駅から車で10分)	14:00～(男)	大崎電気×豊田合成
	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	13:00～(男)	北陸電力×湧永製薬
	広島	中区スポーツセンター(広島電鉄広電本社前駅徒歩3分)	14:00～(女)	広島メイプルレッズ×三重バイオレットアイリス
2月26日	石川	小松総合体育館(JR北陸本線小松駅から車で5分)	15:00～(女)	北國銀行×HC名古屋
	京都	京都府立体育館(JR山陰本線円町駅徒歩6分)	14:00～(女)	オムロン×ソニーセミコンダクタ
	福岡	福岡市民体育館(地下鉄箱崎線千代田駅口駅徒歩1分)	14:00～(男)	トヨタ紡織九州×トヨタ車体
	沖縄	沖縄市体育館(沖縄自動車道・沖縄南インター出口右折1分)	14:00～(男)	琉球コラソン×大同特殊鋼



# 男女個人ランキング 第14週終了現在

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	79 点 (11試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	93 点 (12試合)
2 東長濱 秀希 (大崎電気)	68 点 (11試合)	2 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	89 点 (12試合)
3 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	66 点 (11試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	77 点 (12試合)
3 野田 祐希 (豊田合成)	66 点 (11試合)	4 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	54 点 (12試合)
5 村山 裕次 (琉球コラソン)	59 点 (11試合)	4 高山 智恵 (メイプルレッズ)	54 点 (12試合)
6 東長濱 秀作 (湧永製薬)	58 点 (11試合)	6 石立 真悠子 (オムロン)	53 点 (12試合)
6 樋口 睦 (湧永製薬)	58 点 (11試合)	7 高田 裕梨 (オムロン)	52 点 (12試合)
8 小澤 広太 (大崎電気)	56 点 (11試合)	8 張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ)	45 点 (12試合)
9 富田 恭介 (トヨタ車体)	52 点 (11試合)	8 宋 海 林 (メイプルレッズ)	45 点 (12試合)
9 宮崎 大輔 (大崎電気)	52 点 (11試合)	10 早川 志歩 (メイプルレッズ)	44 点 (12試合)
9 切越 巧也 (北陸電力)	52 点 (11試合)	10 勝連 智恵 (オムロン)	44 点 (12試合)
12 佐藤 智仁 (湧永製薬)	51 点 (11試合)	12 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	41 点 (10試合)
12 武田 享 (大同特殊鋼)	51 点 (11試合)	13 小野澤 香理 (北國銀行)	40 点 (12試合)
14 山城 貴志 (大同特殊鋼)	50 点 (11試合)	13 石坂 美奈子 (バイオレットアイリス)	40 点 (12試合)
15 赤塚 孝治 (北陸電力)	49 点 (11試合)	15 新城 明奈 (メイプルレッズ)	38 点 (12試合)

### フィールド得点

1 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	78 点 (11試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	67 点 (12試合)
2 小澤 広太 (大崎電気)	56 点 (11試合)	2 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	61 点 (12試合)
3 富田 恭介 (トヨタ車体)	52 点 (11試合)	3 高山 智恵 (メイプルレッズ)	54 点 (12試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	52 点 (11試合)	4 石立 真悠子 (オムロン)	53 点 (12試合)
3 野田 祐希 (豊田合成)	52 点 (11試合)	5 高田 裕梨 (オムロン)	52 点 (12試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン)	52 点 (11試合)	6 藤井 紫緒 (オムロン)	51 点 (12試合)
3 切越 巧也 (北陸電力)	52 点 (11試合)	7 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	50 点 (12試合)
8 佐藤 智仁 (湧永製薬)	51 点 (11試合)	8 張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ)	45 点 (12試合)
8 武田 享 (大同特殊鋼)	51 点 (11試合)	9 早川 志歩 (メイプルレッズ)	44 点 (12試合)
10 山城 貴志 (大同特殊鋼)	50 点 (11試合)	9 勝連 智恵 (オムロン)	44 点 (12試合)

### シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 富田 恭介 (トヨタ車体)	52点/ 68射 0.765	1 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ)	50点/ 69射 0.725
2 山城 貴志 (大同特殊鋼)	50点/ 71射 0.704	2 高山 智恵 (メイプルレッズ)	54点/ 76射 0.711
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	78点/112射 0.696	3 高田 裕梨 (オムロン)	52点/ 74射 0.703
4 佐藤 智仁 (湧永製薬)	51点/ 75射 0.680	4 早川 志歩 (メイプルレッズ)	44点/ 66射 0.667
5 小澤 広太 (大崎電気)	56点/ 89射 0.629	5 勝連 智恵 (オムロン)	44点/ 72射 0.611
6 宮崎 大輔 (大崎電気)	52点/ 92射 0.565	6 張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ)	45点/ 75射 0.600
7 野田 祐希 (豊田合成)	52点/102射 0.510	7 上町 史織 (北國銀行)	67点/ 120射 0.558
8 武田 享 (大同特殊鋼)	51点/104射 0.490	8 石立 真悠子 (オムロン)	53点/ 100射 0.530
9 村山 裕次 (琉球コラソン)	52点/112射 0.464	9 藤井 紫緒 (オムロン)	51点/ 106射 0.481
10 切越 巧也 (北陸電力)	52点/121射 0.430	10 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	61点/ 130射 0.469

### 7mスロー得点

1 東長濱 秀希 (大崎電気)	21 点 (11試合)	1 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	28 点 (12試合)
2 木切倉 真一 (トヨタ車体)	18 点 (11試合)	2 藤井 紫緒 (オムロン)	26 点 (12試合)
2 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	18 点 (11試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	26 点 (12試合)
4 野田 祐希 (豊田合成)	14 点 (11試合)	4 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	13 点 (12試合)
4 東長濱 秀作 (湧永製薬)	14 点 (11試合)	5 阿久田 実咲 (バイオレットアイリス)	11 点 (12試合)

### 7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志 (琉球コラソン)	8本/ 19射 0.421	1 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	8本/ 22射 0.364
2 松村 昌幸 (湧永製薬)	5本/ 12射 0.417	2 近藤 澄江 (H C 名古屋)	5本/ 18射 0.278
3 藤堂 聖二 (豊田合成)	4本/ 13射 0.308	3 藤間 かおり (オムロン)	5本/ 19射 0.263
4 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	4本/ 17射 0.235	4 中島 亜樹 (ソニーセミコンダクタ)	7本/ 27射 0.259
5 志水 孝行 (湧永製薬)	2本/ 11射 0.182	5 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	3本/ 13射 0.231

## 第36回日本ハンドボールリーグ成績表 第14週終了 2月19日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	トヨタ車体	湧永製菓	トヨタ紡織九州	琉球コラソン	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○ ○	○ ○	●	● ○	○ ○	○	○	○ ○	11	9	0	2	18	380	308	72
2	大同特殊鋼	● ●	○ ○	△ ○	○ ○	○	○	○	○ ○	11	8	1	2	17	341	281	60
3	トヨタ車体	○	△ ●	○ ○	● ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	11	8	1	2	17	361	275	86
4	湧永製菓	○ ●	● ●	○ ●	○ ●	○	○	● ○	○ ○	11	6	0	5	12	329	313	16
5	トヨタ紡織九州	● ●	●	●	●	○ ●	○ ●	○ ○	○ ○	11	5	0	6	10	334	334	0
6	琉球コラソン	●	●	● ●	●	● ○	○ ○	○ △	○ ○	11	4	1	6	9	266	301	-35
7	豊田合成	●	●	● ●	○ ●	● ●	● △	○	○	11	2	1	8	5	288	346	-58
8	北陸電力	● ●	● ●	●	●	● ●	● ●	●	○	11	0	0	11	0	241	382	-141

順位	女子	北國銀行	オムロン	広島メイプルレッズ	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行	△ ○ ○	○ ○ ○	○ △ △	○ ○	○ ○	○ ○	12	9	3	0	21	351	235	116
2	オムロン	△ ● ●	○ ○	○ ●	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	12	8	1	3	17	357	211	146
3	広島メイプルレッズ	● △ △	● ●	○ △	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	6	3	3	15	302	259	43
4	ソニーセミコンダクタ	● ●	● ○	● △	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	7	1	4	15	333	266	67
5	三重バイオレットアイリス	● ●	● ● ●	● ●	● ● ●	○ ○	○ ○	12	2	0	10	4	222	394	-172
6	HC名古屋	● ●	● ●	● ● ●	● ● ●	● ●	○ ○	12	0	0	12	0	165	365	-200

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。